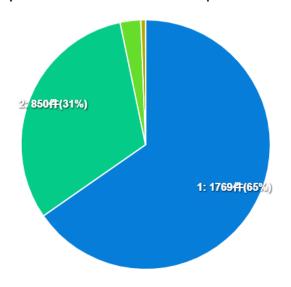
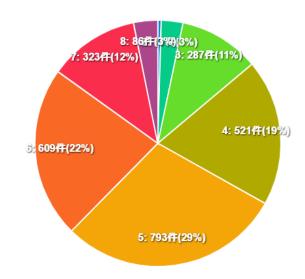
[本アンケートには、どの媒体から入りましたか]



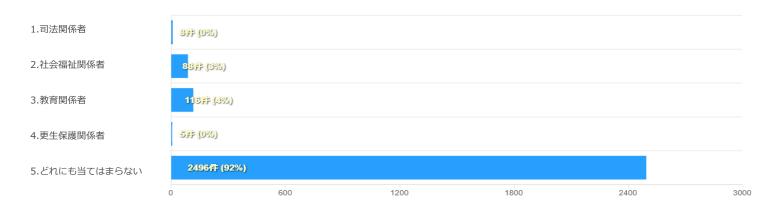
- ●1. 市公式LINEから
- ●2. 市川市メール情報配信サービスから
- ●3. 市公式Webサイトから
- ●4. その他

あなたの年齢を教えてください。

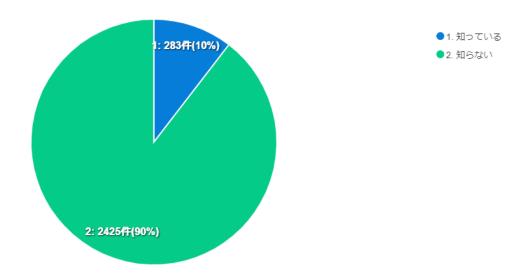


- ●1.19歳以下
- ●2.20歳以上29歳以下
- ●3.30歳以上39歳以下
- 4. 40歳以上49歳以下
- 5. 50歳以上59歳以下
- 6.60歳以上69歳以下● 7.70歳以上79歳以下
- ●8.80歳以上

あなたに当てはまるものを教えてください。

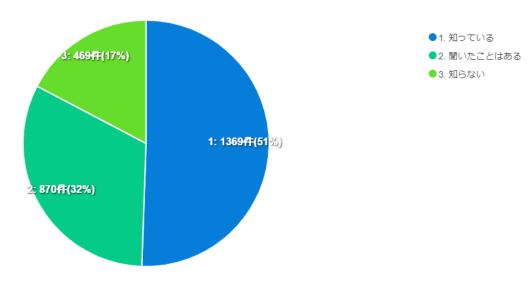


あなたは、国が平成29年から再犯防止推進計画を実施していることを知っていますか。

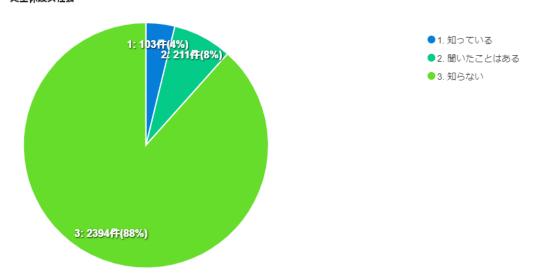


次の言葉を知っていますか。

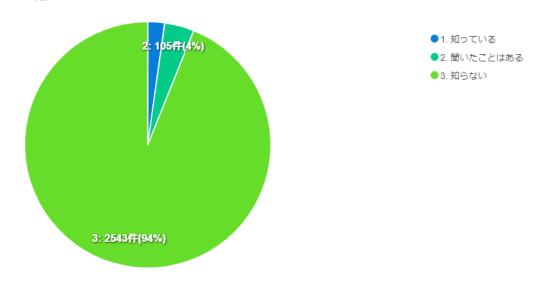
保護司



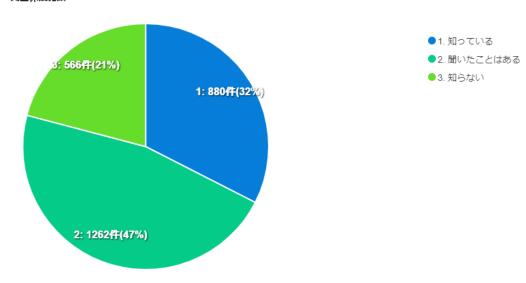
更生保護女性会



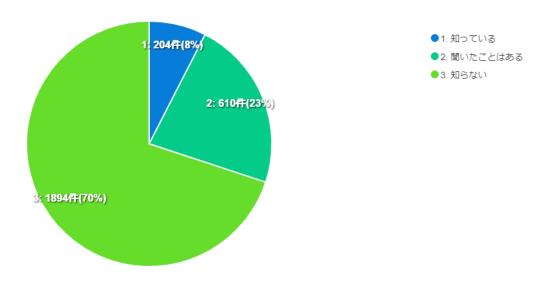
BBSの会



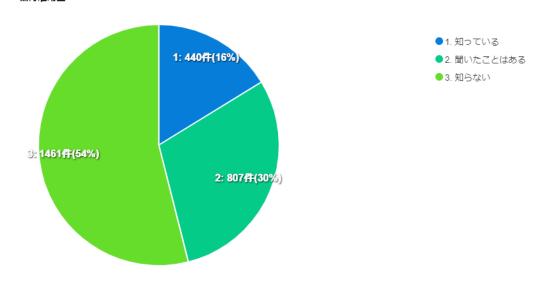
更生保護施設



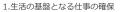
社会を明るくする運動



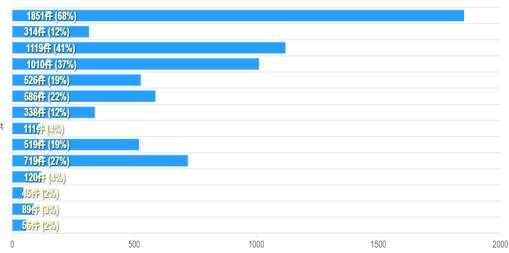
協力雇用主



罪を犯したことのある人が再び罪を犯さないために大切なことは何だと思いますか(3つまで)。



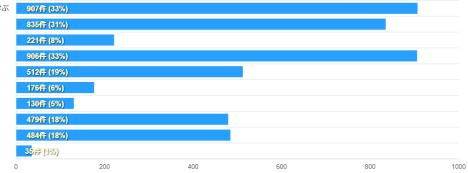
- 2.就労につながる資格等の取得
- 3.生活の拠点となる住まいの確保
- 4.立ち直りを支援する専門機関や民間団体の連携
- 5.矯正施設や学校での教育
- 6.社会や地域の人々とのつながり
- 7.薬物等の依存症の治療などにかかる保健医療サービスの提供
- 8.高齢や障がい等により支援を必要とする場合の福祉サービスの提供
- 9.家族など身近な人の支え
- 10.困ったときの相談先
- 11.再犯防止のための広報・啓発活動
- 12.何もない
- 13.わからない
- 14.その他



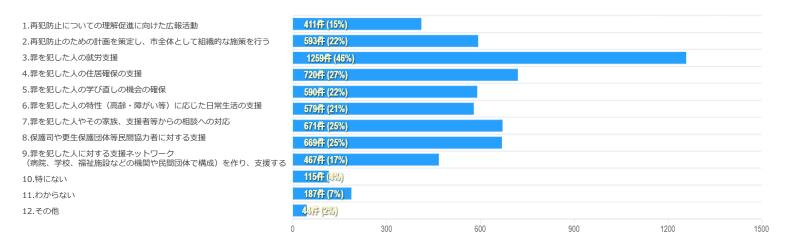
あなたは罪を犯した人の立ち直りのために何ができると思いますか(該当するものをすべて選択)。

1.パンフレットを読んだり、インターネットで調べることなどにより再犯防止のことを学ぶ 907件 (33%)

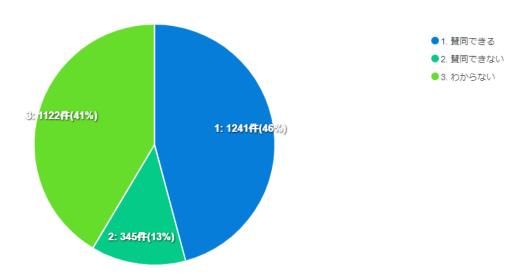
- 2.国や近隣自治体の再犯防止推進計画を読んで、再犯防止の取り組みを理解する
- 3.社会を明るくする運動に参加する
- 4.罪を犯した人に対する偏見を持たない
- 5.罪を犯した人を受け止めて見守る
- 6.罪を犯した人の相談相手となり、寄り添う
- 7.保護司会、更生保護女性会、BBS等の更生保護活動に参加する
- 8.何もできない
- 9.わからない
- 10.その他



罪を犯した人に対して市の役割として期待することは何ですか(3つまで)。



再犯防止のためには、罪を犯した人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることができる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切であるとの考え方があります。あなたはこの考えに賛同できますか。



【被害者に関する質問】再犯防止推進計画は犯罪加害者を対象とした計画ですが、市川市では令和7年4月1日に、犯罪被害者等の権利利益の保護及び被害の早期回復を図り、もって犯罪被害者等を支える地域社会の実現に寄与するため、「市川市犯罪被害者等支援条例」を制定しました。このことを知っていますか。

